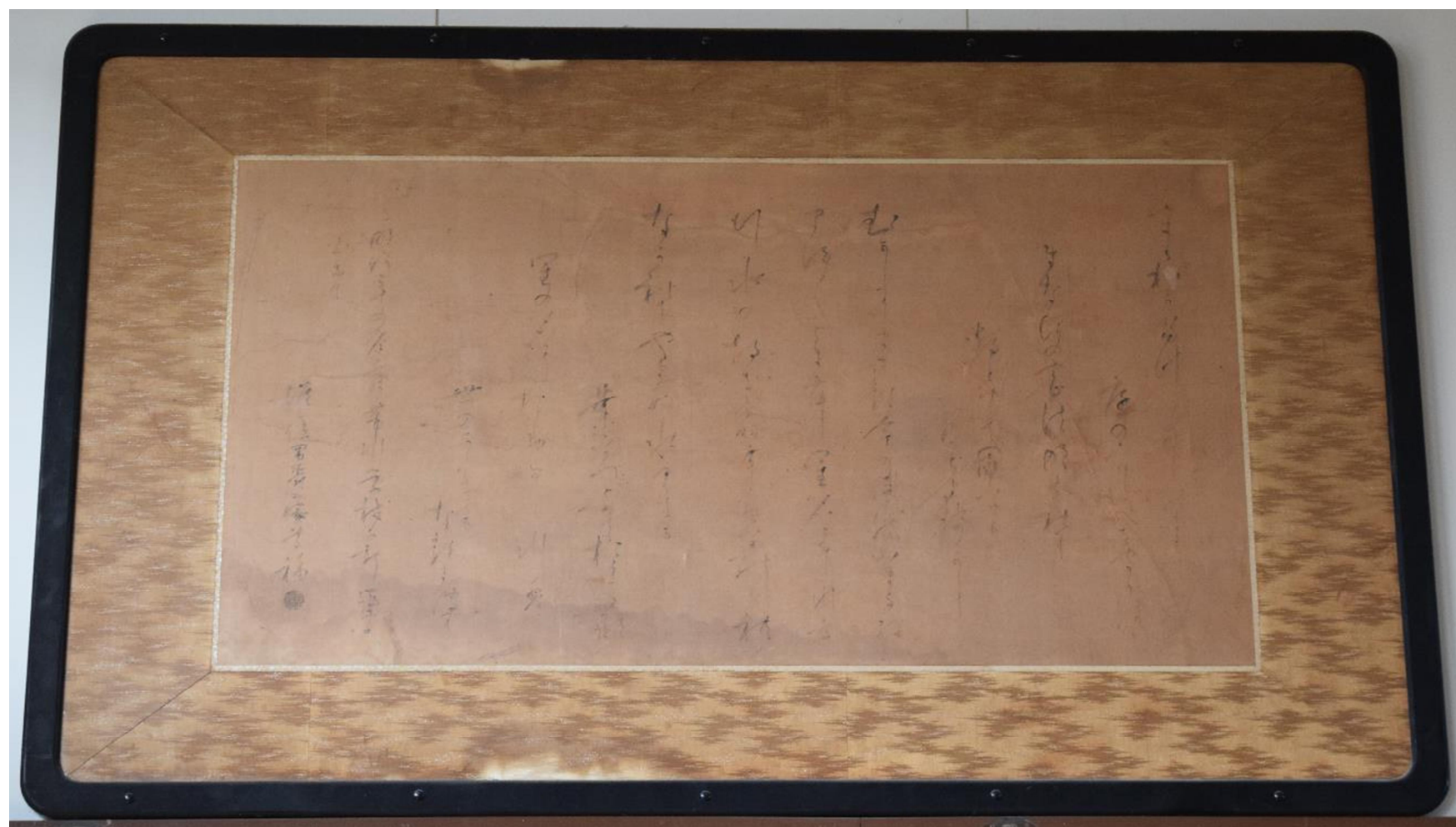


千家尊福筆 吉川小学校校歌額

(吉川小学校所蔵)



明治 29 年（1896）の校舎新築の際に贈られた、この校歌の作詞者でもある千家尊福^{せんげたかとみ}直筆の書。当時の千家は第 4 代埼玉県知事（1894-1897）として県民から慕われていた。

歌詞はすべて変体仮名で書かれており、退色や紙の剥落はあるが連綿の流麗さは残っている。

また、この校歌の作曲をした鈴木米次郎^{すずきよねじろう}は、点字の^{そうきよくきふほう}箏曲記譜法を考案した教育家・作曲家で、のちの東京音楽大学を設立した人物である。

▼書の文字起こし

うらわかたけのふしのまも

庭のをしへを守りつゝ

まなひの窓の明くれに

つとめて國をも

とませかし

むかしにまさる今の御代いまより

ます／＼とまむ里名もよし川を

行水のつきせぬ幸こそたのしけれ

なかれてやまぬ水見ても

業をつとめておこたるな

里の名におふよし川は

世のかゝみとも

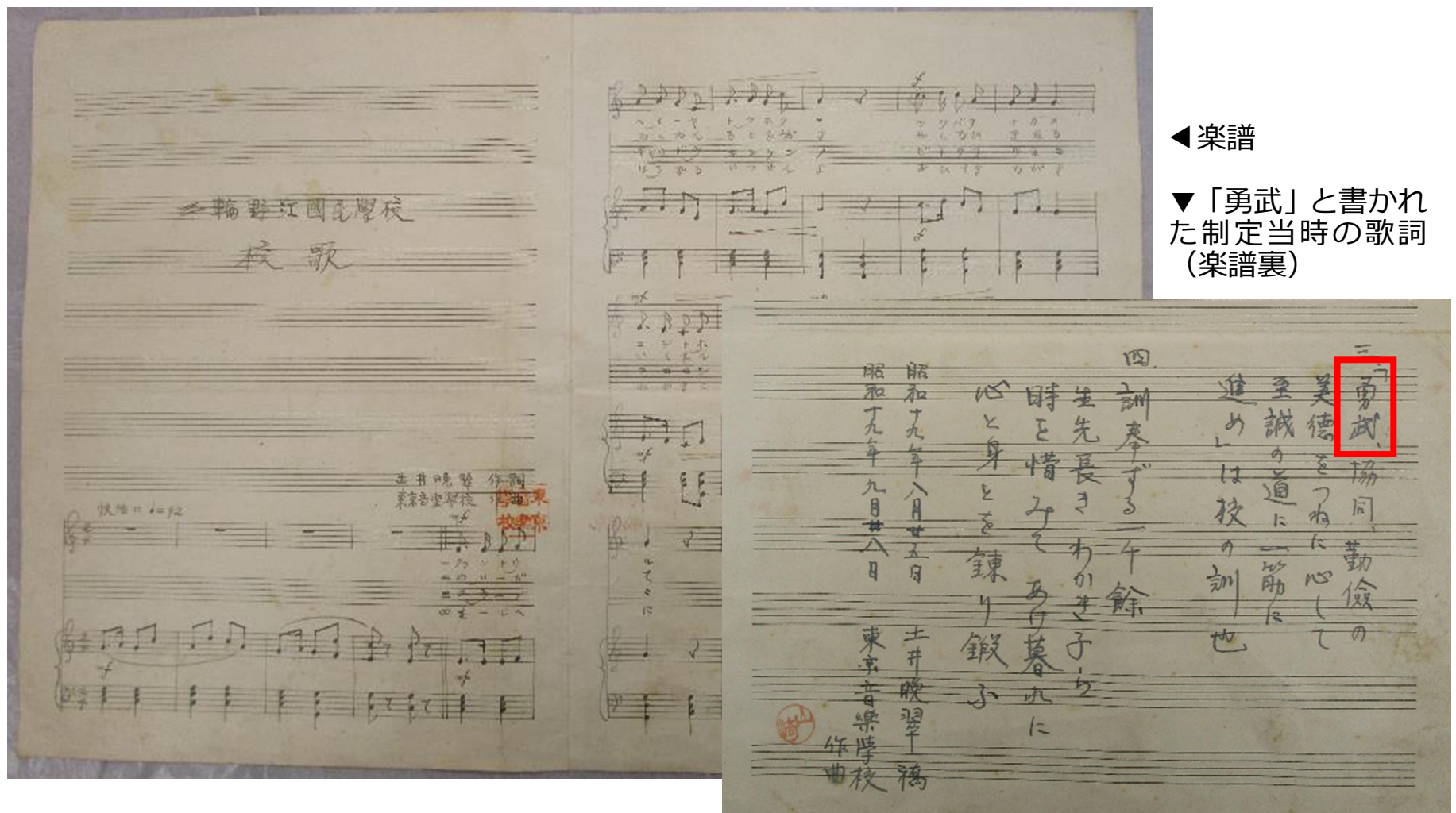
なるまてに

明治二十九年二月芳川学校の新築に

書きて 従三位男爵千家尊福 印（「尊福」）

三輪野江小学校校歌譜面・送付状・認可証

(三輪野江小学校所蔵)

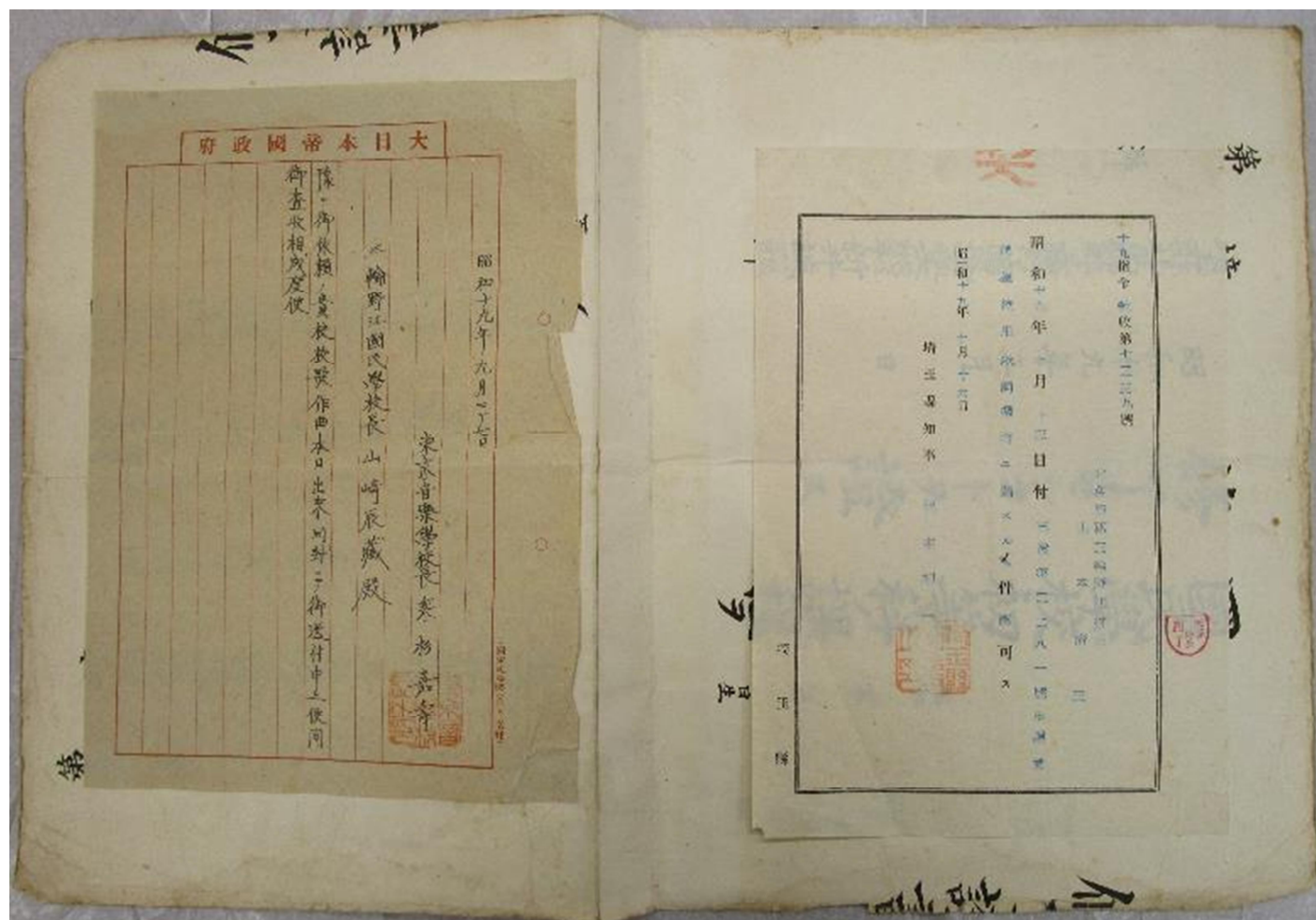


◀楽譜

▼「勇武」と書かれた制定当時の歌詞 (楽譜裏)

昭和19年(1944)9月に完成した校歌の楽譜。「荒城の月」でも知られる^{どいぼんすい}土井晩翠の詞へ東京音楽学校が曲を付けたもので、現在の3番の冒頭は「勇氣」だが、制定当時は「勇武」であったことがわかる。

ここでの署名は「東京音楽学校」(現東京藝術大学)だが、作曲自体は北埼玉郡原道村(現加須市)出身で、多くの童謡・唱歌や校歌を手がけた作曲家・教育家の^{しもおさかんいち}下総皖一である。

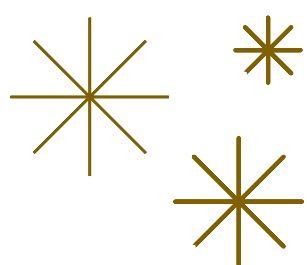


送付状▶

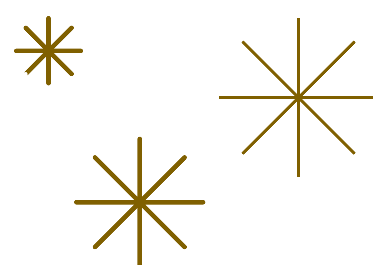
◀認可証

東京音楽学校から三輪野江国民学校校長へ宛てた楽譜の送付状と、校歌としての使用を認める埼玉県知事からの認可証。10月13日に申請し同月16日に認可が下りているのはかなりの早さといえる。

また、これらに関する資料は東京藝術大学未来創造継承センター大学史史料室にも残されている。



吉川市のみなさまへ おねがい



古い資料をお持ちではありませんか？

写真

道具

文書

こんな資料を探しています！

明治・大正・昭和の写真

市内の風景、生活風景

祭り・行事、戦時中の写真

川・水路での魚とり風景

学校の建物や学校行事

災害（カスリン台風、関東大震災など）

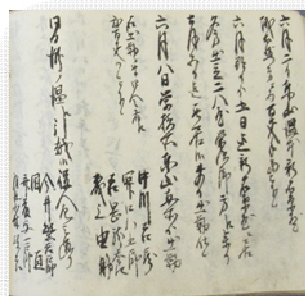


漁具（魚とりの道具）

江戸時代の古文書

校歌の歌詞や楽譜

（三輪野江中学校／旭中学校）



ボロボロでも
汚れていても
かまいません

捨てる前に一度ご連絡ください

～貴重な資料を将来に残し、保存・活用させてください～



文化財保護担当イメージキャラクター
「あはきつす」

発行日：令和5年10月20日

編集・発行：吉川市教育委員会 生涯学習課 文化財保護担当

埼玉県吉川市きよみ野一丁目1番地

電話 048-984-3563

Mail syougai2@city.yoshikawa.saitama.jp